

支え合う関係・ベストパートナー

西和賀の自然の中

ここで暮らす

「豊かさ」を伝えていく

ネビラキ

瀬川 然さん × 瑛子さん

「お互いに支え合いながら幸福を追求していくことができる地域社会」の実現を目指して邁進する人々の姿を紹介します。

©Tsuayoshi Segawa

2020年7月、西和賀町・錦秋湖のほとりに一軒のカフェがオープンしました。店の名は「ネビラキカフェ」。カフェのウッドデッキからは、季節ごとに表情を変える錦秋湖とその周辺の景色が一望できます。西和賀の自然を感じながら、地元の食材を使ったデザートやコーヒーを堪能できるお店です。

オーナー夫妻の瀬川然・瑛子さんは、カヌーやトレッキングなどエコツアーガイドも行っていきます。

然さんは西和賀育ち。子ども頃からカヌーに親しみ、自然の中で育ちました。一方、瑛子さんは、東京出身で2016年に花巻に移住。西和賀の自然の美しさに魅せられ、何度も足を運ぶうち、然さんと結婚。二人は、自分たちが好きな西和賀を伝えたいと2019年からエコツアーを始め



ネビラキ

瀬川然さん(左)、瑛子さん(右)。

長男の魁くん(中央)と。

カフェの営業のほか、春はカヌー、夏はリパートレッキング、冬は雪渡りなど、西和賀の四季を感じるエコツアーを実施。カフェの人気メニューは、西和賀町の特産品である湯田ヨーグルトを使用したチーズケーキなど。西和賀の自然の中で、のんびりと過ごす時間は格別。

●ネビラキ

和賀郡西和賀町川尻40-57-8

TEL 080-6023-8181

<https://www.nebiraki.world/>

ました。自然のことを知り、小さな変化にも気がつくようになると、毎日が豊かに感じられ「季節を追いかけ、一日を味わって生きている実感がありません」と瑛子さんは話します。自宅を改装してカフェを始め、めた理由も、家の裏から見える錦秋湖の景色を、人と分かち合いたかったから。カフェを訪れる人たちのつながりが広がっていくことも豊かさを感じる瞬間だと言います。「物質的な豊かさではなく、西和賀で生きることの豊かさを見て、『豊かさ』の再定義をしていきたいです」と然さんは

語ります。
「ネビラキ」の名前の由来は、太陽の光が木々に当たり、その輻射熱ふくしゃねつによって木の周りから円形状に雪が解けていく現象「根開き」から。瀬川さんご夫妻は、「西和賀に生きる」との豊かさ」を周りに伝え、根開きのように外に向かってゆるやかに開かれたふるさとづくり挑戦しています。

